

平成27年 第2回沼田町議会定例会 一般質問要旨

【町長】

通告順	1	質問議員	高田議員
質問項目	金平町政、二期目の公約は何か		
質問内容	<p>4月に執行された町長選挙において、無投票当選を果たされたことに敬意を表します。今議会は選挙後初の定例議会であり、渾身の力で執行方針を作成されたことと思います。</p> <p>1, 4月21日告示日限りの選挙運動であったため、あらためて伺うが具体的な選挙公約は何であったのか。</p> <p>2, 第5次総合計画には五つの基本目標があります。前半を終了してそれぞれの目標に対し、どのような評価をしているのか。</p> <p>3, 近年、人口減少率に拍車がかかってきています。どこに問題があると考えているのか。</p>		

通告順	2	質問議員	鵜野議員
質問項目	コンパクトタウン構想と財源		
質問内容	<p>6月3日から6日にかけて開催された、ふれあい懇談会においていくつかのコンパクトタウン構想が町民に示されたが、町長の思いとしてどれだけの規模を考えているのか。併せて、それに係る財源をどのように考えているか。</p>		

通告順	3	質問議員	小峯議員
質問項目	農業の振興について		
質問内容	<p>米価下落の所得確保対策として高収益作物の労働力確保対策を新たに行うようですが、すでに複合経営を取り入れている方の中には、後継者が帰ってきて労働力はあるが初期投資ができないという方もいるはずですが。特に、花卉などは天候の状況によっては時期がずれ、思うような単価が取れないので、労働力の確保ができれば増棟したいと考えている方も多いと思います。</p> <p>増棟や更新の調査をしてハウスの助成を考えるべきと思いますが、町の考えをお聞きしたい。</p>		

通告順	4	質問 議員	久保議員
質問 項目	自衛隊の官舎を街中に移築して、隊員に沼田町に住んでもらおう		
質問 内容	<p>沼田町に自衛隊の分屯地ができて今年で四半世紀＝25年になります。この記念すべき年に、9月に『分屯地創立25周年記念式』が開催されることは喜ばしいことです。</p> <p>そもそも沼田町に自衛隊を誘致したきっかけは、1969年から町内の基幹産業として栄えた3つの大型炭鉱が一挙に閉山したからでした。相次ぐ閉山により人口が約1万5千人から約8千人に激減し、まさに開基以来最大の難局に直面しました。この事態に対処し、1969年3月に町議会において「陸上自衛隊沼田駐屯部隊誘致に関する要望決議」を満場一致で決議するなど、全町をあげての誘致運動が始まりました。その熱意と陳情の努力で早くも1973年には北部方面総監部から設置の希望をいただきましたが、それは隊員が沼田町に住まない演習場が中心の計画でした。沼田町の陳情運動の本筋は駐屯部隊の誘致であったので、そこに集中した活動を重ね、ついに1990年3月26日、沼田分屯地の開設式が行われました。つまり、沼田町の自衛隊誘致は、まさに元祖「移住定住」政策だと言っていいでしょう。</p> <p>分屯地創立25周年は、自衛隊の官舎25周年も意味します。その象徴のように、沼田町の高台に40部屋を有する官舎は誇り高くそびえてきました。しかし、その一方で完成当初から、北海道仕様の設計ではなかったためか、灯油の配管がされておらず、エレベーターが無い5階の高さまで灯油の18リッターのポリを手で運ぶ風景が見られるなど、住み心地には現地人として進言すべき余地が多くありました。また、当時の設計基準からシック・ハウスなどの懸念もあります。老朽化も進んでおり、耐震化の基準なども考慮すると、創立25周年は建替えの時期であり、沼田町の提案を含んだ新築の要望活動を行うグッド・タイミングです。</p> <p>隊員数が約70名いて、官舎の部屋数が40部屋ありながら、部屋の占有は25年前の満室から、ここ数年は年ごとに19名、13名、12名、10名と激減して、ついにヒトケタになろうとしています。官舎を含む隊員の町内在住者もそれに比例して激減しており、現在は30名です。隊員全70人中、沼田町に住んでいただいている隊員が半分以下では、「移住定住」に集中した20年間の要望活動の苦労をされた先人が泣いていることでしょう。また、住んでいただいても、せっかく子育て家族であるのに、単身赴任の方も多いので、「移住定住」の効果に反映していません。</p> <p>それでも我が沼田町には、日本中に自慢できる最新の小学校があります。また、これから新しいスーパー・マーケットも新築されようとしています。緑町の高台の官舎を、小学生が通学しやすく、主婦がお買い物をしやすい位置に移動し、さらに暖房や駐車場などの北海道仕様に合わせた子育て住宅を、築25年を超えた今こそ、集中的にテーマをしぼって国に要望活動をすべきではないでしょうか。さらにあわせて、日本中の自衛隊員みなさんに、「北海道の沼田町に転勤すれば、最新の子育て住宅の近所に、最新の小学校や買い物施設、図書館、無料のプールなどが完備されている。」と転勤前に認識していただく沼田町の努力も必要です。</p> <p>25周年の今こそ、先人の自衛隊誘致活動のご苦労を思い出し、より戦略的な「移住定住」に集中した要望活動を国に行うべきだと考えますが、いかがでしょうか？</p>		

質問 内容	<p>以上を踏まえ、下記の質問をする。</p> <p>1. 自衛隊官舎が老朽化している。家族で移住していただくよう、小学校の近くに子育て住宅を兼ねた自衛隊の官舎を新築してもらいたいと思いがいかか。</p> <p>2. 「自衛隊官舎の値上げ適用除外」を、2013年から行っていた北海道の市長らで要望した効果なのか、無料官舎の対象をそれまでの自衛隊の駐屯地・基地から100メートル未満の約600戸から、2014年度に2キロまで拡大して1万3千戸を対象としたが、沼田町の隊員に、その該当者は何人いらっしゃるのか。さらに財務、防衛両省は2018年度には無料官舎を2万2千戸程度まで拡大し、全官舎数の5割弱を無料とする方針だが、この機会にこそ沼田町も「自衛隊をささえる」政策として、無料官舎も視野に入れた要望を集中的に行うべきと考える。いかかか。</p> <p>3. 歴代の町長や、現在の金平町長の自衛隊の要望活動で成果を得た事例は何か。</p> <p>4. 町長の自衛隊員に沼田町に住んでもらうアイデアは何か。</p>
----------	---

通告順	5	質問 議員	長原議員
質問 項目	遊休施設の整理と財源確保について		
質問 内容	<p>6月の町民ふれあい懇談会の中で、10年後を見据え、人口減少、高齢者、介護を必要とする人たちがピークを迎えることを踏まえ、又、若い世代の子育て支援のための「コンパクトエコタウン構想」の説明がなされたところですが、その中で厚生クリニックを中心とした。各種施設の建設構想が示され、大枠ではあるが、財源の見込みも示されました。</p> <p>説明の中で、旧中学校の解体は1億8千万の費用に対し補助金、起債で、町の手出しが3千6百万程で実施できるとのことです。</p> <p>商業施設の説明のなかでは、現在のJA解体経費はJAの積み立て金で対応するようではありますが、このように、施設の整理処分には、数百万から、億単位の財源がかかります。</p> <p>金平町長は議会にたいして、今後施設の整理、事業の見直しは考えていくと言っていますが、「コンパクトエコタウン構想」に係る財源を見ると、町の遊休施設の整理に伴う財源の確保はできるのか聞きたい。</p> <p>また、利用の少ない施設の今後の対応など内部でどの様に考えているのか聞きたい。</p>		

通告順	6	質問 議員	杉本議員
質問 項目	町の経費削減対策として新電力の調査・削減内容の検討をしているか		
質問 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電力自由化され、東北大震災後電力再値上げされ町の電気料のアップの総額と主な施設や街灯料の増額はどうなっているか</li> <li>2. 自治体向けに総務省からガイドラインが出され、NHKが道の自治体に調査したところによると契約を決めた自治体は21で、契約を検討している自治体は20と動きが広がって経費節減に努力しているが、町の対応はどうなっているか</li> <li>3. 新電力に対するメリットやデメリットは、更に具体的にどのような施設に新電力が利用し易いのか</li> <li>4. 現在は大口利用に限られているが、2016年には家庭用も自由かされるが家庭向けのメリット・デメリットは</li> </ol>		

通告順	7	質問 議員	杉本議員
質問 項目	マイナンバー制度施行は、町民の認知度や周知準備の遅れが問題では		
質問 内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マイナンバー制度施行による町民の将来における、リスクと町行政や中小零細企業の義務や負担について周知準備について町の見解は</li> <li>2. 町の業務や民間委託等、手続進捗度・情報漏れ等不安は無いのか <ol style="list-style-type: none"> <li>イ. 個人番号の指定・通知・変更・カードの交付</li> <li>ロ. 町条例制定</li> <li>ハ. 業者への対応 給与事務・社会保険等</li> <li>ニ. 特定個人保護条例の改定</li> <li>ホ. 個人情報保護条例の改定</li> <li>ヘ. 情報セキュリティ関連条例及び規定改正</li> <li>ト. 番号関連システム設計・開発等</li> </ol> </li> <li>3. 町職員や関連する民間企業の情報取扱い義務や負担など職員チームプロジェクトによる研修・対策等具体的にどうされているか</li> </ol>		

通告順	8	質問 議員	橋場議員
質問 項目	<p>町長の執行方針には安倍政権が制定しようとしている「安保法制」(戦争法制)に対してまったく触られていない。私は国民、したがって町民の「いのち・暮らし」に係わる大問題だと思うのだが。福祉に力を入れる考えが述べられているが、福祉と戦争は相反する両極にある事象ではないか</p>		
質問 内容	<p>「日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。」 この憲法9条によって、70年他国の人を殺し、日本人が殺されることがなかった。</p> <p>安倍首相は「積極的平和主義」と言って、「安保法制」(戦争法制)をつくり日本を戦争する国にしようとしている。積極的平和主義を言うなら、日本国憲法9条の精神を世界に積極的に広める事だと思わないか。国会で自民党が推薦した憲法学者も含めて3人の学者が「安保法案」は憲法に違反すると発言しました。</p> <p>東南アジア諸国連合(アセアン)10カ国では「紛争を戦争にしない」事を決めて、そのために年間14回も話し合いを開いていると言います。2010年には米国とカナダを除く中南米カリブ海諸国共同体が設立、「主権の平等」、「武力による威嚇の不行使」などなど、恒常的対話など原則に掲げた地域が生まれています。</p> <p>「テロ」の攻撃を言う人がおります。「テロ」の温床は「貧困」です。アメリカが軍事力をそそいでも中東の紛争はドロヌマ化するばかりです。戦争でテロをなくすることはできません。</p> <p>中東・アジアなどの紛争地域で救済活動する日本人がたくさんおります。「国境なき医師団」の代表中村哲さんが国会で証言しました。アフガニスタンで活動しているのですが「本業は医者だが今は土工夫です」地域の人と井戸を掘り荒地を畑に変えています。「自衛隊がアメリカと一緒に来てから危険にさらされるようになった。」今月6日道新に日本国際ボランティアセンター事務局長長谷部たかとしさんの記事ののりました。(資料として付けました)「武器を持たないことが信頼を生み安全を保障する大きな力になる」と。戦争は金平町長が最大の力をそそいで進めていこうとしている(ように見える)地方創生も戦争はこわしてしまします。</p> <p>すべての国の政策が町民の「いのち・暮らし」と直結しています。平和の発信をすることの重要性を持っていますか。</p>		

通告順	9	質問 議員	橋場議員
質問 項目	「まち・ひと・しごと創生」について、今町が進めていることはそれとして、自治体を消滅させないのが国の仕事。自治体の仕事なのに「消滅」するのがさけられない事と考えているとしたらおかしい。なぜそうなったのかの原因や責任を議論する必要があると思うが。		
質問 内容	<p>健康で文化的な最低限度の生活を営む権利が、すべての国民にあり、国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。これが憲法できめた国への命令です。</p> <p>住民がいれば役場をつくり役場職員を雇い住民に奉仕することを国がやらなければならないのです。だから自治体の消滅はあってはならない事ではないか。「豊かな国土とそこに国民が根を下ろしていることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが国富の喪失である」つまり沼田と同じように豊かな全国の地方が消滅したら国が消滅するという事ではないか。道州制、TPP、農協解体などなど地方を消滅させる悪政と対決する自治体となって国をつきあげる事が重要ではないか。</p> <p>エコタウン構想の中学校跡地を更地にして建物をたてるのは反対。現厚生クリニック地域で考えてほしい。中学校跡地は大勢の卒業生の思い出を残し、町民いこいの場所等として活用してはどうか。</p>		

通告順	10	質問 議員	橋場議員
質問 項目	小・中学生の学校給食費の公費負担について		
質問 内容	子供は社会の未来を担います。社会全体で育てるのがあたりまえの事だと思います。是非実施してほしいと思うがいかがか。		

通告順	1 1	質問 議員	橋場議員
質問 項目	幌新温泉への町営バスの運行について		
質問 内容	<p>厚生クリニック⇔幌新温泉間の町営バスは、下り2便と上り3便が緑町団地を經由しております。</p> <p>温泉に2便10時14分に着き、帰りは3便14時10分で約4時間あります。上り3便の発車時間を早めてほしいと言う要望があります。</p> <p>提案</p> <p>下り2便の起点を「旭町コミセン」にして、そこから厚生クリニックを通り、現行の運行経路とする。下り3便はクリニック12:00発上り3便は12時26分発車にして旭町コミセンを終点にする。</p> <p>さらに、</p> <p>下り4便15時00分（クリニック）／上り15時26分（温泉）</p> <p>下り5便16時00分（クリニック）／上り16時26分（温泉）</p> <p>にできないか。</p> <p>現行の運行で下り4便を利用する人はほとんどきまっているようですので意見をきいてみました。</p>		

通告順	1 2	質問 議員	津川議員
質問 項目	沼田町独自の介護サービスのあり方		
質問 内容	<p>沼田町の現在の高齢化率は40%を超え介護認定者数も251人、10年後には50%の高齢化率に達し介護認定者数も331人を超えると推計されておりますがこの進度が早まる可能性も十分に秘めております。</p> <p>そういった事態に備えていち早い対応が必要と考えますが現在本町の介護サービスは訪問介護や通所介護等々他市町村と変わらない提供をしております。</p> <p>本年介護保険料が3,560円から4,500円に改定されましたがこの保険料のあり方も含めて他に例のない沼田独自の介護サービスというものを考えてみてはどうか。</p> <p>このことがコンパクトエコタウン構想と上手くリンクすれば沼田町は老後安心して暮らせる町として全道、全国にアピールできると考えるが町長の考えを伺いたい。</p>		

通告順	13	質問 議員	大沼議員
質問 項目	沼田町建設工事入札指名選考委員会規定について		
質問 内容	<p>規定の第1条には入札に参加させようとする者の指名を確保するために、建設工事入札指名選考委員会を置くことされています。</p> <p>第2条に組織、第3条に委員長を置き、副町長がその職にあたりとあります。</p> <p>今回、委員長が変わることから、町内における第二次産業の育成についての見解、今後の入札のありかた、発注のありかた、また、既存の道路維持について町長の所信をおたずねします。</p>		



【教育長】

通告順	1	質問 議員	津川議員
質問 項目	小中一貫教育における道教委等の規制について		
質問 内容	<p>沼田町の子供の数も年々減少し将来的に複式学級の導入も視野にいれなければならないかもしれません。</p> <p>そういった場合小中一貫教育を取り入れた時と取り入れない時では道教委等の規制や対応はどう変わるのか、変わらないのか伺いたい。</p> <p>沼田のこども達が伸び伸びと成長して行くためにこういった方向が望ましいのか教育長の考えを伺いたい。</p>		